

聖路加国際病院附属クリニック 予防医療センターの

健診を受診された方、およびご家族の方へ

東京大学大学院 情報学環・学際情報学府 生物統計情報学コースでは、聖路加国際病院と共同で、将来の医療を向上させるため、臨床医学研究を行なっています。年齢・性別・大腸がんの家族歴・喫煙が大腸癌・大腸腺腫のリスク因子として挙げられています。しかし、食事と大腸癌または大腸腺腫の関連は、明らかになっていません。

【研究課題】

Dietary intake and subsequent risk of Colorectal Cancer (CRC) and Colorectal Adenoma in Japan using the Penalized Poisson Regression

(審査番号 2023311NI-(1))

【研究機関及び本学の研究責任者氏名】

この研究が行われる研究機関と研究責任者は次に示すとおりです。

研究機関 東京大学大学院医学系研究科 生物統計学分野

研究責任者 東京大学大学院医学系研究科 生物統計学分野 教授 松山裕
担当業務 研究計画立案・論文作成

【共同研究機関】

研究機関 聖路加国際病院附属クリニック予防医療センター

研究責任者 聖路加国際病院附属クリニック予防医療センター 木村武志
担当業務 データ収集・匿名化・研究助言・論文作成協力

この研究に利用する資料・情報は共同研究機関の範囲のみで利用されます。

【研究期間】

承認日～2026年3月31日

【対象となる方】

2015年10月5日～2018年10月4日の間に聖路加国際病院附属クリニック予防医療センターの健診を受診した方です。

【研究の目的】

本研究では、日本人における食事と大腸癌または大腸腺腫の関連を調べることで、予防につなげることを目的としています。

【研究の方法】

この研究は、これまでの診療でカルテに記載されている血液検査や便潜血検査、大腸内視鏡検査などのデータを収集して行う研究です。特に患者さんに新たにご負担いただくことはありません。学校法人聖路加国際大学 聖路加国際病院附属クリニック予防医療センターの健診データは、聖路加国際大学学術情報センターで抽出し、誰のモノかわからないように加工した上で、聖路加国際大学にて解析作業を行います。対応表は聖路加国際大学学術情報センターで管理・保管します。なお、研究計画書や研究の方法に関する資料を入手・閲覧して、研究内容を詳しくお知りになりたい場合は、末尾の連絡先にお問い合わせください。他の研究対象者の個人情報等の保護や研究の独創性確保に支障がない範囲でご提供させていただきます。

【個人情報の保護】

この研究に関わって収集される資料や情報・データ等は、外部に漏洩することのないよう、厳重に取り扱う必要があります。取得した血液検査や便潜血検査結果、大腸内視鏡検査などのデータは、解析する前に氏名・住所・生年月日等の個人情報を削り、かわりに新しく研究用の符号をつけ、どなたのものかわからないようにした上で、聖路加国際大学にて保管します。データと研究対象の方の対応表は、聖路加国際病院の研究責任者が厳重に管理・保管を行います。

この研究は、東京大学医学部倫理委員会の承認を受け、東京大学大学院医学系研究科・医学部の許可を受けて実施するものです。この研究に関する費用は東京大学大学院生物統計情報学コースの運営交付金から支出されています。本研究に関して開示すべき利益相反関係はありません。尚あなたへの謝金はありません。この研究について、分からないことや聞きたいこと、何か心配なことがありましたらお気軽に下記の連絡先までお問い合わせください。

【連絡・お問い合わせ先】

研究責任者: 松山裕

連絡担当者: 田中晴菜

〒113-0033 東京都文京区本郷 7-3-1

東京大学大学院医学系研究科 生物統計学/疫学・予防保健学教室

電話: 03-5841-3250 (内線:23520)